

シラバス [総合的な探究の時間]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年		総合的な探究の時間	探究	1
教科書				
Ring ノート (リクルート)・生成 AI				
授業のねらい (年間指導目標)				
LC の各チームが立てた問いを学問的視点によって深め、さらに協働的な学びを通して最適解を構築する能力を養う。				
授業の進め方 (年間指導計画)				
1 学期	問いの設定 学問領域化	<ul style="list-style-type: none"> 探究の基本プロセス (課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現) を再度理解する。 LC のチームで設定した問いを、学問領域に位置づけて最適解を構築する。 ※学問領域 (人文・社会・自然・工学・医療・健康・環境・地球・芸術・総合など) 生成 AI を「整理・可視化」の道具として活用し、その過程を記録・可視化する。 ※思考の独自性、過程の説明、根拠の明確さに基づいて実施する。 		
2 学期	発信・発表 調査・分析	アントレプレナーシップ教育 <ul style="list-style-type: none"> 「高校生 Ring」で社会貢献できるサービス・商品を開発する。 成果の発表 <ul style="list-style-type: none"> 小論文やポスターなどを成果物にまとめる。 収集した情報を整理し、プレゼンテーションを通じて表現力を高める。 最終発表・振り返り <ul style="list-style-type: none"> 内容および成果物を更新し、完成度を高める。 クラス発表を経て学年発表を行い、活動の成果を共有する。 学問領域に基づく思考の独自性、過程、根拠の明確性と妥当性を話し合い共有する。 		
3 学期		大学入試への接続 <ul style="list-style-type: none"> 探究の成果を「最適解」としてまとめ、論理的に表現する。 探究プロセスを振り返り、自己の学びと進路 (学問・大学) との接続を明確にする。 探究活動で得た学びを、総合型選抜の試験内容に結びつけて表現する。 		
評価方法				
探究活動での課題テーマに対する取り組みの様子、成果物や発表内容に基づいて評価する。整理分析を通じてまとめた成果物やプレゼンテーションなどの「表現」に留意する。				
備考				